

1人1台端末の本格的な活用が始まり3年が経ち、特別支援教育におけるICT活用が様々な形で進められています。今号では、道内の特別支援学校におけるICT活用の取組や長野県の取組を紹介します。

## ICTを活用した「生きる力」を育む授業の実践を目指して ～北海道苫小牧支援学校の取組～

北海道苫小牧支援学校では、ICTを活用した「生きる力」を育む授業実践に、学校全体で取り組んでいます。校内研修では、育成を目指す「生きる力」を各学年で話し合うとともに、そのために考えられるICTの活用についてアイデアを出し合いました。また、前後期それぞれで、各学年1回ずつの研究授業を行い、授業の計画や内容、改善点などについて協議し、事後には児童生徒の学びの変容や身に付いたことについて全校で共有しています。更に、授業改善の視点から、児童生徒一人一人に合った学習方法についても検討し、授業に取り入れています。教員や児童生徒は、ICTを活用することで、学びがさらに深まる可能性を感じており、ICTの活用による一層の学びの充実が期待されます。



【Googleスライドで友達の回答を見合う様子】

### ICTの活用例

- ・表現の幅を広げる「描画キャンパス」(小1)
- ・活動のイメージや意欲をもたせられる「iMovie」、目標の明確化や評価の機会を充実する「keynote」(小3・4)
- ・友達との協力やコミュニケーションツールとして活用できる「チャット」「Canva」(中3)

### 主な成果

- ・「カメラ機能」の活用により、「見る・選択する・伝える」経験を積み重ねることができた。(小2)
- ・「Googleスライド」を用いた相互参照により、友達の考えを参考にして考えることができた。(小5・6)
- ・学習活動の流れを示すことができる「DropTap」等の活用により、活動への見通しがもちやすくなった。(中1)
- ・「Safari」や「Googleレンズ」等の活用により、分からないことをすぐに調べることができるようになった。(中2)

## 長野県教育委員会ICT活用支援サイトの紹介

長野県教育委員会では、特別支援教育におけるICT活用支援サイトを公開しています。このサイトでは、個別の指導計画におけるICT活用の位置付けに関する教員向けの資料や県内の実践事を中心に、特別支援教育におけるICT活用に関する様々な情報を掲載しています。また、長野県が開設している「県特別支援教育ICT・ATリソースセンター」の情報も掲載していますので、参考にしてください。



<Webページ>

<https://sites.google.com/g.nagano-c.ed.jp/nagano-tokubetsushien-ict/%E3%83%9B%E3%83%BC%E3%83%A0>



# 今号のコラム

## ICTを活用した学びのDX事業 全道協議会

道教委では、組織的なICT活用を促進することを目的として、全道協議会を開催しました。

協議会では、リーディングDXスクール事業指定校におけるICTを活用した授業改善や校務DXに関する実践発表や、組織的なICT活用の推進に向けた協議を行い、自校や地域におけるICT活用の充実にに向けた見通しを明らかにしました。



以前から  
・会議資料はペーパーレス（PDF）ただし、共有サーバーにつながる職員室での会議のみ

この2年間(令和4年～)  
・欠席等連絡のGoogleフォームによる送信とスプレッドシートによる即時情報共有化、クラスルームの活用  
・各種アンケート、意見集約等へのGoogleフォーム活用（担当者による？）

これから更に（現在進行中）  
アイデア出しの実施（自分事にする）  
整理～検討 →各分掌で随時DXへ  
Googleサイトで職員ポータルサイトを作成（日報、生徒出欠、施設予約、行事予定、会議資料などを集約）



【リーディングDXスクール事業指定校による実践発表スライド】

### 【参加者の声】

- ・分掌やICT担当という枠を超え学校全体で実践する必要性を感じた。
- ・教職員がトライ＆エラーを大切にしながら取り組めるような環境や雰囲気づくりに取り組みたい。
- ・フォームの回答を集約するスプレッドシートの作成が難しいので、ひな形を共有してほしい。

## 【NEW!】「校務DX化の促進に係る関連情報」新コンテンツの公開

### 「欠席等連絡フォーム」及び「集計用スプレッドシート」の公開

校務でのICT活用が期待される中、児童生徒の欠席連絡をクラウドサービスを用いて行っている学校もあります。

道教委では、保護者が送信した欠席等のフォームを、学年・学級ごとに自動集計してスプレッドシートで表示するテンプレートを作成しました。



本テンプレートは、下記のQRコードから閲覧できる「欠席等連絡フォーム(サンプル)利用案内」からコピーして利用でき、マニュアルに沿って操作していただくと、10分～15分程度で設定を完了することができます。



保護者が回答する項目などを、それぞれの学校で使いやすいようアレンジすることができるので、校務DXの推進に向け参考にしてください。

<ICT活用ポータルサイト>欠席等連絡フォーム（サンプル）利用案内Web

<http://www.icktensyu.hokkaido-c.ed.jp/koumudx/kessekiformattemplate.pdf>



#### ICT活用ポータルサイト



チャットボット案内が利用できるようになりました！

#### 「みんなで研修」プログラム



短時間でICT活用を学べます！

#### 「いつでも研修」プログラム



1人1台端末の操作研修はこちらへ！

#### 北海道公式ホームページ サイトポリシー



北海道公式ホームページの  
サイトポリシーはこちら

北海道教育庁ICT教育推進局ICT教育推進課

URL <https://www.dokyoief.pref.hokkaido.lg.jp/hk/ict/index.html>

